

21～22年度 第1回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成21年10月16日 (金)	会 場	平塚市八幡山公園内 八幡山洋館
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川昭・○白井委員長・○平山副委員長・×小幡副委員長・○福永副委員長 (委 員) ○増田・○中村・○斉藤・○小林 (支部長) ○名取・○安田・×加藤・○山口・○福田・×津田・○山本・○小山(代藤川) ○中原・○谷田・×水村・○矢後・○川村 (平塚) 支部 黒部・山口(則)、新倉 () 支部 ○上原会長・×小林副会長・×芝副会長		
1. あいさつ 上原会長、吉川副会長、白井委員長より			
2. 報告事項 ・名簿の確認及び自己紹介 ・要望活動の実施結果報告 神奈川県、横須賀市、藤沢市、海老名市、厚木市、大和市、綾瀬市、座間市、鎌倉市 小田原市、南足柄市、愛川町、大井町、開成町、中井町、松田町、山北町、箱根町、 真鶴町、湯河原町、清川村 以上の管轄支部より実施報告が提出された。 ・各種報告 ①業務報酬基準・工事監理ガイドライン講習会の参加願い(10/29 横浜市開港記念会館) ②衆院選結果を踏まえた日事政研の運営方針等について(上原会長より説明)			
3. 議 題 (1) 支部長合同ブロック支部委員会の開催について ＜平成21年度＞ 開催時刻：15：00～ 平成21年10月16日(金) 中ブロック 平成21年12月18日(金) 湘南ブロック 平成22年 2月19日(金) 横浜ブロック ＜移動委員会のローテーション＞ 県央 → 相模原 → 横須賀 → 県西 → 川崎 → 中 → 湘南 → 横浜 (2) スポーツ大会実施について ・10月24日 卓球大会の報告 集合9：00 練習台：5台、組別試合用：8台 8組40チームが参加。ブロックで組別のメンバー表の提出を再依頼した。 ・平成22年度：湘南ブロック担当 ＜担当ブロックローテーション＞ 県西 → 県央 → 川崎 → 相模原 → 横浜 → 横須賀 → 湘南 → 中 ・開催ブロックは、下記1～4までをお願いします。 1. 種目の確定 2. 会場等の手配 3. その他運営に係わる事項 4. 総予算 25万円			

(3) キャンペーンの実施について

- ・ 21年度の開催概要報告 9/15～9/19 約 1,200 名の来場があった。
- ・ 平成22年度：県西ブロック担当

<担当ブロックローテーション>

県西 → 相模原 → 川崎 → 中 → 横須賀 → 県央 → 湘南 → 横浜

- ・ 開催ブロックは、下記1～4までをお願いします。

1. 企画
2. 会場等の手配
3. その他運営に係わる事項（(社)日事連より テーマが与えられ、セミナー開催、無料相談の実施）
4. 総予算 50万円

(4) 新入会員への待遇について（入会特典等）

例、バッジ、手帳、会員証等を入れるケース、規程（持ち歩ける物）、
業務書式モデル集等

(5) 会員増強案等についての意見交換

- ① 19～20年度の非会員事務所訪問活動の報告書を支部長へ送付する。

- ・ 引き続き勧誘して欲しい。

- ② 21年度事業の説明（予算：170万円）

- ・ 平成21年度の会員増強活動及び退会防止対策活動の企画書の提出について
「会員増強または、退会防止策」の企画案を提出して欲しい。（21年度内に開催したものに限る）
- ・ 早急に企画書の雛形を作成し、各支部長へ送付する。
- ・ 企画書の提出期限：平成21年11月16日
- ・ 企画内容に応じてブロック支部委員会にて査定する。（限度額10万円程度か？）

<企画例>

- ・ 訪問活動の実績表の提出
- ・ 新規登録事務所等の会員外を無料で講習会に招待した費用
- ・ 非会員への呼びかけを行った。（企画書＋予算書）
- ・ 会員増強のための支部独自のパンフレット等を作成した。
- ・ 19、20年度同様、訪問勧誘した費用。
- ・ 支部管轄の会員外事務所へのダイレクトメール等の費用。
- ・ 退会防止のための事業（現会員に対する周知、普段参加していない方への訪問等）

(6) その他

- ① セカンドオピニオン機能について（システム化が可能か）

- ・ 費用をもらって実行する。
- ・ 信頼のおける会に厚みをつける。
- ・ 建売、住宅メーカー等のお客さんからの要望が多い。

- ② 会員事務所の紹介業務等について

- ・ 構造、設備等の協力

- ・ 事務所の実態把握
- ・ 業務に反映することができる情報交換

③ブロック支部の仕事

- ・ 会員増強
- ・ 懇親、親睦
- ・ 定期講習会 講師
- ・ 仕事等のアンケート調査の実施？

(7) 意見交換

(横浜支部・名取)

- ・ 行政とのトラブル(新入会員)を抱えている方がいた。誓約書はあるが、規程等の説明を事前にしていない。
→ 現在は(社)日事連憲章のみなので、+αで作成する方向である。
方法が徹底できていないので、良く説明する必要がある。
面接をすることも必要。
- ・ 入会金について、入会し易い形にしたい。現状は、3万円の内1万円を支部にバックしている。
- ・ 会費が安いので、土会の加入率の方が良いのでは？ → 加入率は、10%程度である。
- ・ 会員サービスと会費のバランス（他会との関連性）
→ 徐々に整えていく（検討中）
- ・ 会費と事業関係の検討 → 今までにない大きな事業（事務所登録）を行っている。
- ・ 入会3年未満の方との懇親会を実施予定。
- ・ 毎月1回、講習会を開催している。ほとんどが会員外である。

<上原会長>

- ・ (社)日事連の業務支援サービス、業務書式モデル集を活用していますか？
→ 活用していない、知らない方が多い。
- ・ 賠償責任保険の加入率が20%なので、是非加入して頂きたい。（設計事務所向けの保険はこれだけ）

(横須賀・安田)

- ・ 横の繋がりを強化するため、支部の委員会に全員入ってもらっている。（人数を増やしている）
- ・ 新入会員を役員会へ呼んで認定証、支部ホームページのパスワード、資料等渡している。また、懇親会にも参加してもらっている。
- ・ 毎年バーベキュー大会を所員、家族を含めて開催している。（参加者：50名）
- ・ 市民へのピーアール活動として、産業まつりに出展している。
- ・ 若手育成会を発足した。今後は、事務所を開設したい方向き（勉強会、見学会、懇親会）
- ・ 入会金、会費のハードルが下げられるか
- ・ 市からの委託で耐震委員会（20名）を作っている。

(藤沢・山口)

- ・ 三会（土会、事務所協会、協同組合）で活動している。
- ・ 会費がネックである。
- ・ 一般市民へのPR（設計、工事監理の仕事を理解させる活動）が必要。

(鎌倉・福田)

- ・ 会員増強について
退会防止策は、懇親会につきる。
増強の必要性 → 目的を明確にし、持たせることが必要。
- ・ 非会員の事務所訪問をしたが、実態のない事務所も多く、くだらないと思った。
- ・ 土会も同じような活動をしている。
- ・ 仕事展（5日間）を実施し、会員外（鎌倉市在住、事務所がある方）にも声を掛けている。仲間意識は非常に大事である。
- ・ 建築士会と合同でフォーラムを開催予定（11/1 実施）

(秦野・山本)

- ・支部会費を 1,000 円下げた。
- ・副支部長も若い人になった。
- ・親睦（そば打ち）と会員増強を行っている。
- ・11/3 市民まつりに出展。また、削ろう会で住宅相談を実施。
- ・士会とも合同で事業を行っている。
- ・市よりの依頼で、建築相談の実施を検討中。

(伊勢原支部・藤川)

- ・現在 8 名なので、10 名を目指して活動中。
- ・支部定例会（2 ヶ月に 1 回）で、勉強会を開催している。また、会員外も声を掛けている。

(厚木・中原)

- ・よろず相談（5 士会にて）を 1 年に 1 回開催。相談者が多いときで 100 名を超える。
10/3 に 3 ヶ所で実施したが、全体 60 件の相談があったが、建築に関しては 0 件であった。
- ・11/7～11/8 商工観光まつり（大道芸フェスタ）へ出展する。来場者は毎年 1 万人である。例年は、起震車を展示しているが、今年度は、会員の作品、耐震写真、パネルの展示を行う。

(座間・谷田)

- ・会員 10 名（最高 15 名）で、気心が良く知れているので、退会者が少ない。また、増強活動については、知っている事務所に絞って活動している。
- ・「お願いするから、入会して」ではダメ!! 入会金を安くしてハードルを下げられれば。
- ・入会金を 1 万円その方へバックしている。
- ・年 4 回支部で無料相談に派遣している。（会員のみ）相談員は、全て全員が、メンバーなので一体感がある。
- ・座間市民の方には、認知されている。

(愛川・矢後)

- ・8 名と少ないが、まとまりはある。
- ・毎月 1 回定例会を実施。その際、業者を呼んで勉強会を実施している。
- ・実態のない事務所が多い。
- ・定期報告業務を愛川町より委託され、交代で行っている。
- ・ふるさとまつりに出展している。子供向けのイベント（レゴブロックによる子供ひろ場）を実施。子供が来れば、大人（親）を呼んでくる。
- ・看板（標識板）のような会員之証を作成して欲しい。宅建業のステッカーのようなものでも良い。
- ・入会金について、本会からのバックを月会費に振分け替えている。

(県西・川村)

- ・小田原産業まつり（10 月）と南足柄市のまつりに出展している。主に住宅相談とパネル展示。本会で作成した工事監理のパネルは良くみている。
- ・防災訓練にも協力している。
- ・会員増強については、会員外にも声を掛けて「よろず塾」を実施し、1 名が入会した。

(平塚・斉藤)

- ・勉強会を実施している。
- ・大磯、二宮、平塚からの耐震診断の相談あり、会費分は賄えている。

(平塚・黒部)

- ・異業種交流が出来るか検討中。（平塚支部の浅野さんが行政書士会の副会長であるので）

(平塚・山口)

- ・会費がネックである。下げられれば・・・

(平塚・新倉)

- ・大学の後輩が多いので、その方々を拾い上げていきたい。

(相模原・福永)

- ・さくら祭り等へも出展しているが、効果が薄い。
役員会で議論した結果、目標を建てる必要があるという結論になった。
→ 消費者に目を向けた活動として、セカンドオピニオン（コンサルタント業務）を行っている。
- ・「建築・住まいるフェスタ」を 11/14 に開催する。市も協力的である。
弁護士、市からも相談員 6 名、消防 4 名が参加していただく。
また、建築士向けの相談も実施する。是非、参加協力を頂きたい。

(川崎・白井)

- ・新規登録事務所には、会の案内を出している。
- ・60 周年（22 年度）を向かえる。退会防止策のために事務所訪問をして写真等を撮りにいく活動を実施。
- ・市からの委託事業も多い。非会員 50 社、会員 50 社の 100 社で動いている。
- ・登録事務所は、900 社程度あるが、1 割の入会である。

<要望>

- ①会員のためにどう動くのか。（技術集団として出来ることは）目標設定が必要。
「入会されている皆様がより良くなってもらいたい。」 → サポートがどれだけ出来るか。
- ②セレモニーの組織ではダメ。代議士の一人も出せないのはダメ。
- ③業界が一つになる事が必要では？
- ④全国大会の功労者表彰の規模が小さい。表彰の方法を考えて欲しい。
事務所協会に貢献した人が表彰されるので、やめたくなくなってしまうのでは？
- ⑤(社)日事連建築賞も大手以外の発掘が必要である。

<(社)日事連ホームページのパスワード>

ユーザー名：JAAF（半角大文字）
パスワード：JAAF11（半角大文字）

次回 平成 21 年 12 月 18 日（金） 15：00～ 湘南ブロックにて

21～22年度 第2回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成21年12月18日 (金)	会 場	藤沢産業センター6F 研修室3
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川昭・○白井委員長・○平山副委員長・○小幡副委員長・○福永副委員長 (委 員) ×増田・○中村・○斉藤・○小林 (支部長) ○名取・○安田・○(代)林・○山口・○福田・○津田・○山本・○小山・○中原 ×谷田・×水村・○矢後・×川村 (正副会長) ○上原・○小林・○芝 (藤沢) 支部 ○甘粕・○端山・○野口・○出口 (鎌倉) 支部 ○近藤・○梅沢・○鈴木 (茅ヶ崎寒川) 支部 ○青木・○北野		
0. 賛助会ホームページの活用について → 賛助会：西村氏、岩月氏、山崎氏より説明された。			
1. あいさつ 正副会長より			
2. 報告事項 ・ 前回議事録の確認 ・ 各種講習会の案内			
3. 議 題			
(1) スポーツ大会について (意向を聞く)			
・ 予算：25万円であることを確認。 ・ ソフトボール大会は、会場の手配が大変である旨の報告を受けた。			
(2) 建築士事務所キャンペーンについて			
・ 21年度は横浜ブロックにて5日間開催したが、反省点もあった。 ・ 次年度開催の県西ブロックでは、準備委員会を立ち上げていく予定である旨を報告。 今年度の反省等も含めて、本会の関わり方等について意見を出してもらい調整、検討していく。			
(3) 新入会員への待遇について (入会特典等)			
例、バッジ、手帳、会員証等を入れるケース、規程 (持ち歩ける物)、業務書式モデル集等			
・ 会員特典を増やしていくべきである。(会員証を持っていくと割引がある等) ・ (社)日事連バッジは、会員全員が付ける習慣をもつことが大事。(植えつけていく) また、会員バッジについては、入会時に寄贈できる等を検討して欲しい。 ・ 会員の証 (事務所に掲げられるもの) の作成 → 総財務委員会に提案する。 ・ 対外的なPRとして、仕様書に名称を入れる等を行うことが良い。 ・ 業務書式モデル集の無料化 → 企画業務委員会にて検討いただく。 ・ 会への所属意識が持てるものが必要。横須賀では入会式 (支部の名簿、支部の会員証を贈呈) を行っている。わざわざ入会式をしてくれた等の気持ち、意識が変わるので、入会式を行ってはどうか。 → 本会で行うのか、支部で行うのか？ → 年2回程度本会で行っては？システム作りをブロック支部委員会でまとめる。			
<意見>			
①入会金の考え方について			
・ 入会金無しでも良いのでは？他団体の情報も収集しては？ → 定款改定の必要があるのと公益社団法人化等の問題もあるので時間がかかる。(新しい定款を作成する必要がある。) → 色々な事を想定し、議論していく必要がある。 → 入会金は必要。(簡単に入れない会であることも必要) ・ 定款見直しについては、25年までに行うこととしているが、来年直ぐの改正は物理的に無理である。また、見直しを進めるにしても、しっかりと定款を見ながら議論をして欲しい。			
(4) 平成21年度 支部会員増強並びに退会防止企画書について			

- ・提出支部：横浜、川崎、横須賀、湘南三浦、藤沢、鎌倉、平塚、伊勢原、愛川、相模原、県西の11支部より企画書の提出があり、提出支部より説明がされた。

（横浜支部）

- ①講習会案内を会員外へFAXにて周知し、入会を呼びかけた。
- ②第14回建築・文化展において非会員へも出展を呼びかけ、非会員用の会場を設け入会の機会とする。
その他退会防止として、入会3年未満の方との懇親を図っている。

（川崎支部）

- ①退会防止として、会員全員の事務所を訪問し、写真等を収集すると共に会への希望や不満などを聞き、今後の活動に結びつけていく。
- ②新規登録事務所へパンフレットを持って訪問し、勧誘する。
- ③支部の研修会案内などを非会員事務所へ送付し、お試しで無料招待する。
- ④非会員事務所（感触の良かった事務所）へ年賀状を出す。
→ この活動は良いので、次年度神事協でも行ってみては？

（横須賀支部）

- ①新入会員入会式の実施。役員会にて入会キット（入会証書、会員バッジ、支部規程等）を贈呈し、会を認識してもらう活動。
- ②非会員を対象によこすか産業まつりにて協会活動を認識してもらう活動。

（湘南三浦支部）

- ①支部活動の様子を紹介する新聞等の案内を作成し、非会員事務所に送付する。また、問合せのあった事務所へは訪問し入会を勧める。
・二代目に引き継ぐ時のフォローが出来れば良いのですが…

（藤沢支部）

- ①建築士事務所向け講習会を実施し、非会員（200事務所）へ郵送にて案内を出し、無料招待し協会のPRを行い、入会を勧める。
- ②非会員事務所への訪問入会活動を実施する。又は、ダイレクトメールにて呼びかけを行う。

（鎌倉支部）

- ①鎌倉の建築士仕事展2009を開催し、非会員へも出展を呼びかけ5社（会員は15社）が出展された。この活動は、会員同士の親睦等になり退会防止となり、非会員へは協会の活動等に興味を持っていただくことにより入会へのきっかけになっている。また、この活動を通じて入会者が増えている。
・支部長は、支部会員のためになる仕事（活動）等を主にすることが大事であると思っています。

（平塚支部）

- ①支部会員の退会防止策として、支部ホームページに各会員のPRページを作成する。
- ②会員増強活動としては、昨年個別訪問して反応が良かった事務所への再訪問活動。

（秦野支部）

- ①第25回全国削ろう会（秦野大会）へ参加し、会員相互の懇親等を深めた退会防止企画。
- ②「かわりゆく建築事情を考える勉強会」を実施し、非会員へも呼びかけ無料で招待した。
非会員が4名参加され、現在入会を勧めている。
- ③退会防止企画として、支部会員の親睦を図ると共に非会員へも呼びかけ2名が参加した。現在入会を勧めている。

（伊勢原支部）

- ①勉強会を中心とした支部例会時に会員外へもFAXにて案内を出し、無料にて招待している。
- ②協会の存在を一般市民へとPRすると共に非会員へも周知し、会員事務所の紹介と会員募集広告をタウン誌（2誌）へ掲載する。
→ 後日内容を報告して頂く事とした。

（愛川支部）

- ①非会員事務所を訪問し、入会勧誘をする。(年2回)
- ②会員事務所内に会員之証を掲示することで、広く一般市民に協会員であることをアピールでき、設計事務所としての信頼性をPRすることで、非会員の入会意識を高めると考え、会員之証を作成した。
また、これは退会防止にもつながると考えている。
→ 総財務委員会へ提案する。

(相模原支部)

- ①補助費はいらないが、活動の紹介をしたいので提出した。
建築・住まいるフェスタ 2009 の実施。消費者のみの対象ではなく、支部会員が建築物の相談、法律相談等が出来る活動を行うことにより退会防止につなげ、非会員へもイベント案内と入会案内をFAXにて送付し、会員増強活動の一端とした。(22年度は、10月2日に開催予定)
- ②非会員への個別電話による会員増強の実施。各種非会員向け講習会案内をFAXにて送付。

(県西支部)

- ①「よろず塾」の開催。建築設計に関連する勉強会を開催することにより支部会員の設計業務の一助となることで退会防止につながり、非会員へも積極的に呼びかけることにより、協会活動を知ってもらい入会にきっかけになる。
- ②地域広告誌への協会PRと入会促進。

- ・補助費の上限金額を1支部当たり10万円である旨報告。
- ・全ての事業において報告書を提出していただくこととした。
- ・提出がされていない支部についても企画があれば年内中の提出をお願いした。
- ・この予算は、毎年使えるのか? → 減額になる可能性が高い。

<意見として>

- ・入会金をキャンペーン期間として2万円にしては? また、入会奨励金等に利用できるか?

(5) 会員増強案等についての意見交換

- ①会全体としての行う増強活動について(例、非会員事務所への訪問)
→ 今後、核となる活動を検討していく。

②セカンドオピニオン機能について(市民のためになる事業)

- ・インスペクター(第三者検査)についても今後検討していく。
- ・横浜支部では、すまいるスーパードクター制度を実施している。
→ 本会の調査鑑定事務所と連携、統一が出来ないか?
→ 横浜支部で検討していく。

③会員事務所の紹介業務等について

- ・退会防止につながる。会員のやりたい事、望んでいる事について、支部を通して聞いて頂きたい。

(6) その他

- ・準会員制度について
高齢者も多くなっていることと仕事も減っているのも、会費が払えない会員が出てきているので、廃業はしないが会費が払えない方等を救えないものか?
- ・退会防止策として、シニア会員の創設をしては?(仕事はしているが会費が払えない場合のシステム作りが必要では?)との意見があった。

21～22年度 第3回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成22年 2月19日 (金)	会 場	日本丸訓練センター 第1教室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川昭・○白井委員長・○平山副委員長・○小幡副委員長・○福永副委員長 (委員) ○増田・○中村・○斉藤・○小林 (支部長) ○名取・○安田・×加藤・○山口・○福田・×津田・○山本・○小山・○中原 ○谷田・×水村・○矢後・×川村 (正副会長) ○上原・×小林・○芝 (横浜) 支部 野村哲生・小渡佳代子・川島良夫・佐藤光良・根岸光司・野路秀雄 田岡照良・齋藤良信		
1. あいさつ	白井委員長、上原会長、吉川副会長、芝副会長より		
2. 報告事項	・前回議事録の確認(時間短縮のため割愛) ・3/16「改正省エネ法についての講習会」の周知及び申込みをお願いした。 ・地引網開催について(申込協力をお願い) 中止の場合のお金の返金について → 検討することとした。 日時：平成22年4月24日(土) 忠右エ門丸 茅ヶ崎西浜海岸 集合：9:30 当日の中止等の連絡をすることもあるので、各支部の連絡担当者を決定する。 また、中止の判断は、当日6時までにする。 支部での周知、申込みをお願いした。 ・建築士定期講習の講師推薦について 設計及び工事監理に関する科目担当：白井委員長、小幡副委員長、平山副委員長、増田委員 建築物の建築に関する法令に関する科目：益田光則氏、増田勝男氏(元県職員) 開催日程：6月21日、10月26日(両日とも、パシフィコ横浜アネックスホール) ・民間団体へ新業務報酬基準の周知等要望の実施について(2/26まで要望先候補募集) 神奈川県内建築関係6団体へ実施を要望を実施するが、その他に要望先の希望があれば事務局まで連絡する。 ・その他配布資料あり。		
3. 企画業務委員会からの依頼	・街並み散策マップの作成について 各支部で最低一つは作成して欲しい。体裁としては、B5版で、表紙、地図、写真とする。 街並みだけではなくて、風景、見所等でもよい。		
4. 議 題	(1) 平成21年度 支部会員増強並びに退会防止企画の報告書について		
	・現在までの入退会の状況は、-1名であるので、何とか純増にしたいので、協力をお願いした。 ・報告書の雛形を支部長へ送付するので、3月15日締切にて提出をお願いした。		
	(2) 新入会員への待遇について(入会特典等)		
	例、バッジ、手帳、会員証等を入れるケース、規程(持ち歩ける物)、業務書式モデル集等		
	・各支部で入会式を行なってもらうことを依頼した。また、贈呈品をまとめて支部長へ送付する。 ・22年度 バッジについては新入会員へ贈呈する。 ・会員証等を入れるケース(ビニールポケット有り 924円)を見本で購入する。 - 名入れをし、新入会員にのみ配布する予定。 ・持ち歩ける規程については、手帳にはさめる程度のものとする。 → 見積もりをとる。 ・業務書式モデル集については、新入会員へ渡せるように検討中。		
	(3) 会員増強案等についての意見交換		
	①会全体としての行う増強活動について(例、非会員事務所への訪問)		
	○22年度の全体的な方針		

- ・非会員を含めたネットワーク化（各種案内をして良いか、否かを含めたもの）
- ・講習会の会員と会員外の受付区別
- ・「住・緑・家」コンペを利用した増強活動 → 検討課題
- ・会員事務所への訪問（アンケート等の実施）

②セカンドオピニオン機能について → 準備会を立上げ予定

③会員事務所の紹介業務等について → アンケート案を作成中

<横浜支部>

- ・入会金の問題が大きな足かせになっている。
- ・セカンドオピニオン
→ 各支部で行なっている相談業務を参考にしては？方法論等は色々あるのでは？
また、すまいるドクター制度（TEL相談）、すまいるスーパードクター制度（有料にて出張して相談等を実施。経費もあるので相談者の近くの方を紹介している）。

<横須賀支部>

- ・入会式を行なっているので、今日の話はありがたい。
- ・建築士会が行なっている建築展に相乗りして支部独自のキャンペーンを実施したい。

<藤沢支部>

- ・非会員200社に対してDMを出して60名の参加があった。これからも講習を実施したい。
- ・講師については、小さな支部でも派遣して欲しい。

<鎌倉>

- ・興味を持ってもらえるような活動をしていきたい。
- ・横浜支部の協力を得て、木耐震の講習（勉強会）を開催した。
- ・「仕事展2010」を実施予定（非会員を含めて）
- ・結束力を高めるため、支部総会を一泊で実施予定。（12,000円/人）

<秦野>

- ・耐震無料相談14件中2件が耐震改修等に結びつく可能性がある。（受注につながっている）
耐震相談員への登録を会員へ呼びかけている。会員増強と退会防止につながっている。
- ・色々な意見交換会が出来る支部にしたいと思っている。

<伊勢原>

- ・昨年1名入会し、建築士事務所憲章を印刷し、額に入れて支部長が読み上げ贈呈した。
- ・支部の会合で勉強会を実施し、非会員に呼びかけているが参加者が少ない。
市内で実質業務を行なっている事務所が少ない。今日の内容でヒントを得たい。

<厚木>

- ・2/23 県央ブロックにて勉強会を実施。会員外への呼びかけも考えている。
- ・今日の内容でヒントを得たい。

<座間>

- ・入会金については、本会からのバックを新入会員に返している。（実質2万円）入会金は無しにしては？
- ・代替わりをして新たに入会する人がいる。ターゲットを絞って増強活動を実施予定。
- ・入会前でも新入会予定の方を招待している。また、講習会参加費への補助も実施している。

<愛川>

- ・非会員47事務所中、7事務所が会員。実態のある会社は、5～6社程度。現在回っている。
- ・会費は高い（6,000円/月）。だが、会費以上のメリットがあると説得している。
- ・愛川町の事業（定期報告）を支部で実施。そこに参加できるようにしている。
- ・業務が受注できる等のエサがないと厳しい。
- ・本会としてのアピールをしていただきたい。団体だから法改正等に対して意見が出せる。（交渉できる等）
- ・会員之証の作成は（事務所に掲げるもの）是非作成していただきたい。また、安全安心をアピールしていきたい。

<平塚>

- ・一般市民に対して木耐震のアピールとして講習会を実施し、100名が参加した。
- ・大磯、二宮地区で木耐震事業を実施しているので、それをPRして会員外を勧誘しているが…
- ・入会金の3万円は大きい。足かせになっている。
- ・会員相互のコミュニケーションを図っていきたい。
- ・中ブロック、建築士会協賛で地盤調査の研修を実施。

<大和綾瀬>

- ・平成19年から大和商工会議所で建築無料相談を行っている。
宣伝のため、チラシ2万枚、ポスター300枚を配布していただいている。
これは県からの補助金200万円が商工会議所にあり、それを活用させてもらっている。
- ・平成21年に大和耐震化促進協議会（建設団体5団体）を発足している。
市議員にお願いし、自治会で勉強会を実施して欲しいと依頼して頂いている。
補助金利用 120件 内60件が補強まで行った。（リフォームも含んだもの）
- ・今期2名の入会があり、あと数名入会予定。
- ・防音工事関係も仕事を増やしたい。
- ・(社)日事連から単位会への還元がもっとあって良いのでは？(社)日事連の会員増強に対する考えは？
- ・会員増強→仕事を作る事である。と考えている。
- ・各支部で商工会議所を利用してみては？
- ・神奈川の中で耐震についての意見交換会を実施したい。
- ・会員を馬鹿にする事務局職員はいらない。

<相模原>

- ・大和綾瀬支部を見習って商工会議所へ打診したいと思っている。
- ・相模原市では4つの工業団地が出来る予定（政令市になるため）
- ・支部では景観条例、リニア誘致等についてパブリックコメントを実施し、コメントを出している。
- ・非会員事務所（一人当たり25件）を取り込んだ講習を実施し、非会員128名が参加した。
今後も実施したい。

<川崎>

- ・川崎市に900社以上の登録事務所があり、1割が会員である。入りそうな事務所が少ない。
- ・会員事務所を訪問して退会防止につなげていきたい。
- ・委託事業（公社、市）が多い。
- ・川崎支部では、非会員事務所のデータ登録あり。
- ・懇親を含めた事業を実施したいと思っている。

<今後の検討事項等について>

- ①カムバック会員は、入会金無料等のキャンペーンを期間限定で行うことについて
- ②会員外を含めたネットワーク化について
- ③会員事務所への訪問について
- ④コンペ事業を会員外へPRすることについて
- ⑤講習会案内等を送付して良い事務所のリスト作成（情報提供の了解をもらった事務所）
- ⑥講習会受付の会員と会員外の区別（実施しているが徹底する）
- ⑦パンフレットは業務内容を入れたものとする。

<委員会への依頼事項>

- ①会員証及び会員之証の作成を総財務委員会へ依頼する。
- ②耐震の情報交換について、木造特別委員会へ依頼する。

（４）その他 → なし

次回 開催日未定 場所は県央ブロックにて

21～22年度 第4回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成22年 6月23日 (水)	会 場	愛川町 古民家 山十郎
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川昭・×白井委員長・○平山副委員長・○小幡副委員長・○福永副委員長 (委 員) ○増田・○中村・○斉藤・○小林 (支部長) ×名取・○安田・○加藤・○山口・○福田・×津田・○山本・×小山・○中原 ○谷田・○水村・○矢後・○川村 (大和綾瀬) 支部 相原 (座間) 支部 棕 (厚木) 支部 三平 (海老名) 支部 杉崎 (愛川) 支部 林・来住野・天野・中山・荻田 (正副会長) ×上原・×小林・×芝		
1. あいさつ 吉川副会長より ブロック支部委員会は、支部の意見を吸い上げるためにある。 2. 報告事項 前回議事録の確認 民間確認検査機関についてのアンケート実施中。 会員のメリットとなる要望を行っていくために実施しているので、率直な意見等を提出して頂きたい。 平成22年度会員増強大キャンペーン期間における入会金の免除について 9月1日～11月30日までをキャンペーン期間とし、その期間に入会したもの(支部は下記の取扱いに同意したものとする。)は入会金を免除することが6月10日の理事会にて決定された。 ○入会金が無しの場合の各種取扱いについて ・定款施行細則第10条(1)の支部事務費及び指導費1万円の取扱いについては、入会金が0になるので、支部事務費及び指導費については、支給しない。 ・入会奨励金(純増分)2万円の取扱いについては、会員増強大キャンペーン期間内に入会した会員については、数に含めないものとする。 建築基準法の見直しに関する検討会について(情報提供) → 吉川副会長より説明 8月を目途に意見をまとめる予定。会議の詳細については国交省のホームページを見てください。 一般市民向けポスター(A2版)及びチラシ(A4版)について 注文書に希望部数を記入して事務局宛に送付するようにお願いした。また、部数が限られているので、場合によっては希望に添えない可能性もあることを説明した。 要望活動について 要望書案等を配布。例年通り要望活動を行って頂くことをお願いした。 建築士定期講習 7/1～9/10 配布及び受付(実施日:10/26) なんとか会員さんは今年度中に講習を受けて頂きたいので、支部会員への周知等をお願いした。 建築士事務所キャンペーンの実施日程について 開催日:平成22年11月13日(土)～14日(日) 10～20時 会 場:ダイナシティ小田原口ビンソン百貨店			

協力依頼等を出すので宜しくお願いします。

スポーツ大会の開催日程について

開催日：平成22年10月16日（土）

会 場：江の島ボウル

・30レーンあるので、4人/レーン 120名限定で開催する予定。

午前中に開催し、表彰及び懇親会は昼食を兼ねて開催する予定。

パーティー代 3,000 円/人程度。詳細については決定次第、連絡することとした。

・各種報告

3. 議 題

(1) 平成22年度 支部会員増強企画の提出について

・藤沢支部より企画書の提出があった。

提出日を6月28日に修正し、企画書の提出依頼を行った

会員外を含めたネットワークの構築について

・事務局で配布している研修会案内等Eメール情報サービスのファイルを案内文と共に支部長宛に送付するので、問合せ先等を修正してもらい支部事業等で配布して頂き、平成23年1月末にリストを事務局に送付して頂き、3月までにすべてのデータをまとめることとした。

また、支部別のメールアドレスを入れた名簿（メールの不明な人も含める）を各支部へ送付し、チェックしてもらうこととした。

会員事務所の紹介業務等係るアンケートについて

→ 現在検討中であるので、完成したら送付することとした。

(2) 新入会員への待遇について（入会特典等）

・22年度入会者へ保険証入れを贈呈する。（支部長へはモニターとして配布）

また、将来的には会員全員に配布することとしたい。

・会員之証については、総財務委員会にてコンペ等を行う予定ですので、その際には協力をお願いした。

(3) 支部長からの提案議題についての意見交換

・ブロック支部委員会の役割としては、支部と本会との繋がり強化、支部意見の吸い上げを目的としているので、忌憚のないご意見をお願いした。

・簡易プレハブ(物置・事務所・カーポート)建物の法的取り扱いについて
国へ規制強化してもらう働きかけをして頂きたい。（愛川支部長より）

→ 判断基準の明確化をお願いする。また、関東甲信越ブロック会議にも意見を提出する。

（担当：吉川副会長）

(4) その他

大規模災害時における相談業務の応援に関する協定について

・相談員名簿の提出について、吉川副会長より説明。相談員として、各支部2名の推薦をお願いした。
推薦にあたっては、指定推薦用紙を使用し、7月23日必着で提出依頼した。

また、変更が生じた場合にはその都度連絡を頂くこととした。

(財)建築技術教育普及センターの助成事業について

- ・普及事業助成に関しては、各支部の事業でも申し込みが出来る内容なので、詳細については(財)建築技術教育普及センターのホームページで確認して頂くようお願いした。(上限 100 万円)

< 意見 >

(藤沢支部)

- ・支部長 = 理事だと思っていた。支部長への情報が遅い場合がある。
 - ブロックの会員数で理事の数を決定している。支部長 = 理事であった方が良いとの話もあったが、大変であるとの意見が多数であった。
- ・理事会等の情報に関しては、議事録をホームページへ掲載している。

(鎌倉支部)

- ・木造特別委員会に出ているが、講習料について一律 3,000 円と決まったと聞いているが、3,000 円でも良いが、3,000 円の付加価値があるものにして欲しい。
 - 一律で決定はしていない。各委員会に任せている。
- ・定期講習会の料金について、日建学院との差が 3,000 円程度あるようだが、その違いが何か分からない会員が多いので教えて欲しい。
 - (財)建築技術教育普及センターで料金を決定しているので、現状料金を下げることはできない。日建学院との違いは、映像ではなく生の講師で講義を行っていることである。テキスト及び審査問題も違う。
- ・新入会員への事務局員の対応が悪い。入会して頂いているとの感覚が欠如している。民間企業を見習って頂きたい。また、入金された時の対応も考えて欲しい。お金が厳しい中、会費を払って頂いているので。
 - 支部長より入会申し込みが届いた時点で、申込者へお礼の電話をすると共に、理事会承認の手続き中ですので暫くお待ちください等大体の期間を伝える。
- ・支部長ばかりに支部会員増強企画等の提出させるのではなく、理事会で決定し、その企画についての意見交換をしたい。何も考えていないのか？

次回 平成 22 年 9 月 15 日 (水) 相模原ブロックにて

21～22年度 第5回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成22年 9月15日 (水)	会 場	浜陣3階
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川昭・○白井委員長・○平山副委員長・○小幡副委員長・○福永副委員長 (委員) ×増田・○中村・○斉藤・○小林 (支部長) ○(代)野村・○(代)寺坂・○加藤・○山口・○福田・×津田・×山本・○小山・○中原 ○谷田・×水村・○矢後・○川村 (相模原)支部 西倉・永田・佐藤・麻生		
1. あいさつ 白井委員長、吉川副会長より			
2. 報告事項 前回議事録の確認			
大規模災害時における相談業務に係る相談員の推薦について 未提出：湘南三浦支部 → 至急提出頂けると回答を頂いた。			
キャンペーンの実施について(小林ブロック委員、川村支部長より) (平成22年11月13日(土)～14日(日) 10～20時 ダイシティ小田原 北ソソ百貨店)			
・詳細を現在つめている状況である。内容が決まり次第、お手伝いや参加協力をお願いをするので、その節はよろしくお願い致します。			
スポーツ大会の開催について(10/16 江の島ホーリングセンター)(中村ブロック委員より)			
・横浜支部、県央ブロック、県西ブロックより参加者名簿の提出あり。未提出のブロックは早急に提出するようお願いした。			
「住・緑・家」運営特別委員会からの報告			
・「住・緑・家」のPR活動の場所を、横浜、川崎、横須賀、大和、鎌倉、小田原にて実施するので、後日、玉田委員長より協力依頼の連絡をする旨を報告した。			
3. 議 題			
(1) 平成22年度 支部会員増強企画の提出について			
・11支部より提出あり(横浜、横須賀、藤沢、鎌倉、平塚、伊勢原、愛川、相模原、県西、川崎、秦野)			
→ 委員会で確認等を行った結果、下記のように決定したので、再提出をお願いした。			
・ネットワーク化の実施費用を企画書に入れて頂く。(全支部対象)			
・会員外を無料で招待する講習会等の会場費は申請可だが、有料のものは不可とした。			
・一般市民向け事業のテント代等については不可とした。			
・バス見学会のバスチャーター費用は不可とした。			
・一式計上しているものは、詳細に記載頂くこととした。			
・講習会等の実施における非会員事務所の参加者の報告を頂くこととした。			
・季節の挨拶状の送付、地域誌への広告掲載等については、対効果を報告頂く。			
会員外を含めたネットワークの構築についての実施費用申請について			
・今年度のメイン事業であるネットワーク化の実施費用を記載して、内容も含めて再提出をお願いした。			
< 意見 >			
・本来、会員増強や退会防止を考えるのは支部長の仕事ではないと思います。せめて、理事の方々及び役員の方々全員が企画書を提出するようにして下さい。また、企画内容については、お金の配分があつての事なのかもしれませんが、イベント関連にとらわれず、視野を広げるべきだと思います。			

各委員会等が全て会員増強に取り組む姿勢が大事ではないか？

→ 各委員会でも講習会での差別化等を実施している。また、ブロック支部委員会メンバーは支部長兼務者が多いので、理事も企画を考えています。

良い企画は情報提供頂き、協会全体で実施したいと思っているので、企画書の提出をお願いしている。

会員増強月間について（9/1～11/30）

- ・ホームページへもキャンペーンの告知を掲載した。主に贈呈品等の情報を掲載している。
- ・10/6 新規開設事務所研修会が実施されるので、参加者名簿を支部へ送付しますので、訪問活動等を実施して頂きたい。

会員事務所の紹介業務等係るアンケートについて

→ 現在、検討中である旨を報告した。

(社)日事連への報告（当協会が実施している内容、他の単位会に聞きたいこと）

- ・会員増強の目的は？（例、「強制会になるため」等、意志統一が必要では？）を追加する。

（２）支部事業の契約の取扱いについて

支部と本会との覚書作成等について（履行責任、費用負担等）

→ 支部で直接契約しているのか、本会が契約し、支部で行っているのか等の把握、整理が必要であるので、調査を実施する予定ですので、協力をお願いしたい。

併せて、責任問題等に発展する可能性があるので、覚書の作成等についての意見も聞きたい。

契約の形態（出席者で分かる範囲のみ）

- ・横浜、横須賀、相模原、は支部で直。
- ・川崎は、支部で直のものと本会契約と２種類ある。
- ・鎌倉は、本会契約となっている。
- ・支部＝支店となるのか？法人化の問題でもあるので知りたい。

（３）支部長からの提案議題についての意見交換

・「会員増強」に対するトップの考え方や方向性について（公益社団と一般社団では違うかもしれないが）魅力をつくる。 → 各支部で事情が違う。

法的にしばるのか？（強制加入）

上記の２通りが考えられるが、どちらを優先するのか？

< 意見 >

- ・親睦だけでは無理な状況になってきている。
- ・魅力づくりのためにセカンドオピニオンについても検討している。
- ・本会の理事が、会員増強についてもっと考えるべきである。
- ・最近、非会員を研修会等に呼びかけても集まらない。苦労している。
多く集まった企画があれば教えて欲しい。
- ・ネットワーク活動としては、支部の中のネットワーク化を行い、エリアを分けて非会員へのネットワーク化を進めている。
- ・大和市では、ゴミ収集車で耐震促進協議会の宣伝をしてくれている。これによって、マンション、複合ビル等の耐震相談が多くなってきている。このため、県央ブロックにもバックアップをお願いしている。

(4) その他

会費について

- ・ 一律に決めて、本会が徴収するのか？
- ・ 九州や四国ブロックでは、所員数によって会費を替えているようなので、このような事が考えられるのか意見交換したい。

10月21日開催の神事協フェアについて

- ・ 賛助会、常設委員会が協力して実施するので、是非とも参加をお願いしたい。
また、一般市民にも参加して頂けるよう、マスコミ等へも働きかけをしている。

次回 平成22年11月17日(水) 横須賀ブロックにて

21～22年度 第6回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成22年11月17日 (水)	会 場	横須賀市産業交流プラザ 第2研修室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川昭・○白井委員長・○平山副委員長・○小幡副委員長・○福永副委員長 (委 員) ○増田・○中村・○斉藤・×小林 (支部長) ×代野村・○代寺坂・○加藤・○山口・○福田・×津田・×山本・○小山・×中原 ×谷田・○水村・○矢後・○川村 (横須賀)支部 田中忠夫・玉田正人・古谷雄一・小菅邦夫・比護友一・樋口和也・加藤 (湘南三浦)支部 林 俊司		
1. あいさつ 吉川副会長より 2. 出席者の自己紹介 3. 報告事項 前回議事録の確認 ブロック支部委員の推薦(内規)について 様式について現在ブロック支部委員会で作成中である旨も報告した。 スポーツ大会の基本次第について 報告し、確認を行った。 各種報告			
4. 議 題			
(1) 平成22年度 支部会員増強企画書について			
3支部より再提出あり(横浜、伊勢原、相模原)			
・横浜支部は、了承された。			
・伊勢原支部については、現段階では認められないのでペンディングとした。 掲載等についてのルール作り(媒体、費用負担額等)について検討を行い、決定次第連絡する。			
・相模原支部については、「建築・住まいるフェスタ」は不可とし、非会員向けの無料研修会開催と電話での入会案内について助成することとし、詳細を作成頂くこととした。			
既存提出企画で承認されたもの(藤沢、鎌倉、愛川、県西)			
・鎌倉支部は、費用の詳細を記載して頂くこととした。			
その他			
・主旨を明確に伝達出来ていなかったため、明確にすることとした。 ・非会員が無料のもののみを認めることとなっているので、ご理解を頂きたい。 ・有料の場合の会場費や懇親会費の費用は、認められないのでご理解頂きたい。 ・広告については、今後議論をするが、現状は厳しい状況である。 ・退会防止については、別途考えていく。			
(2) 支部事業の契約の取扱いについて			
支部と本会との覚書作成等について(履行、費用負担等)			
・覚書については、本会が契約した場合のみ必要。 ・本会が契約した場合の印代等の費用負担も知りたい。 ・一般社団なのか、公益社団になのが決まらなと色々なことをやっても無駄では？ メリットとデメリットの比較したものがあれば。 ・方向性を早期に決めて、それに応じて増強方法、支部活動制約、連結決算になるのか等の議論が始められるのでは？ → 支部会員が基本なので、内容を理解して頂くことと、支部としての意見を聞いて進めていく			

いので、11/22 に会議を行うので出席をして欲しい。

(3) 月会費について

- ・一般社団なのか、公益社団になのかによって、徴収方法等も含めて今後検討する。

(4) 会員増強について

- ・ネットワーク化は良い。
- ・アナログのネットワーク（口コミ等）で会員増強をしていきたい。
- ・たまには、噂の段階の情報も必要では？
- ・現在会員の中で交流を深めて、その知人に入会して頂く等が良いのでは？
- ・新規登録事務所のリストを利用したいので、3ヶ月毎くらいには情報が欲しい。

(5) 支部長からの提案議題についての意見交換

講習会について

- ・色々な講習があるので、内容がわかるような副題を付けてみては？
 - 企画業務委員会が調整を行っているので、ご意見はお伝えします。また、開催して欲しい講習等の情報も募集しているので、ご連絡を頂きたい。
- ・本会から支部管轄の参加者名簿を送付して欲しい。会員増強に使えるので。
- ・講習会の案内方法を考えては？（声のかけ方等）

ブロック支部委員会の予算について

- ・予算を分配するだけでなく、会として一括なにかに利用しても良いのでは？
 - 考える。その場合は、支部にも還元出来る内容としたい。

(6) その他

セカンドオピニオンについて

- ・委員会の設置を考えているので、各ブロックより委員を出して頂きたい。
- ・持ち込まれた内容によって選別して受けないと難しいのでは？（クレーマー等）
トラブルがトラブルを呼ぶ。
- ・苦情相談の前段階のために必要。
- ・諸刃の剣である。
- ・設計事務所のあっせんまで出来るのか？
 - インспекター（第三者監理、検査）では可能では。
- ・非会員との差別化にも必要である。

キャンペーンのお礼（川村支部長より）

- ・皆様のご協力のもと、無事に終了出来た。また、手形、ペーパークラフトは好評であった。
- ・セミナーの基本設計と実施設計の違いが不明確であった。

21～22年度 第7回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成23年 2月16日 (水)	会 場	小田原箱根商工会議所
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川昭・○白井委員長・○平山副委員長・○小幡副委員長・○福永副委員長 (委 員) ○増田・○中村・○斉藤・○小林 (支部長) ×野村・○安田・×加藤・○山口・○福田・×津田・○山本・○小山・×中原 ○谷田・○水村・○矢後・○川村 (県西) 支部 ○長谷川・○渡部 () 支部 () 支部		
1. あいさつ 白井委員長より			
2. 自己紹介			
3. 報告事項 1) 前回議事録の確認			
2) 地引網大会について 日時：5月15日(日) 12：30～ 会場：片瀬西浜海岸 殿網 会報3月号に案内を同封するので、申込をお願いした。			
3) 平成22年度 支部会員増強企画等の報告書の提出について 会員外も含めたネットワーク化実施活動の報告書の提出 ・1月末での報告書の提出が無いので、提出期限を3月14日として報告書の提出をお願いした。 支部会員増強企画に対する報告書の提出 ・提出期限を3月14日として、企画書提出支部へ送付し、報告書の提出をお願いした。			
4) 支部事業の契約の実態把握(アンケート調査協力のお願い) 21年度と22年度の実績を記載頂く。 記載項目：受託事業名、契約の実態、委託者名、契約金額、本会契約の場合の手数料、 本会契約の場合の覚書等 有無、備考 ・本会契約の場合の覚書等 有無については、今後考えていかななくてはならない内容であるため入れた。 ・契約の実態にあっせん、相談員派遣を追記する。 以上を修正し、支部長宛にメールにて送付する。 各支部の一般社団化の動向についてアンケート調査を実施することとした。 ・アンケート内容を検討し、早急に実施することとした。			
5) 各種報告 ・管理建築士講習(5/30開催): 2/15～4/8 申込書の配布及び受付 ・建築士定期講習(6/15開催): 3/中旬～ 申込書の配布及び受付予定			
4. 議 題			
(1) 会員増強について ・神事協の会員増強活動報告資料 ・大阪会が取り組んでいる増強活動資料 ・(社)日事連の会員増強検討WGが取り組む課題の検討(上原会長作成)資料			

次年度、新規事務所向け講習会の開催方法について（意見募集）

- ・県内4ヵ所（地域については、今後検討）を予定。

<意見>

- ・神事協が実施しているイベントにぶつけて開催してみても？
- ・新規講習会の参加者名簿を事前に担当支部へ送付し、当日フォローを頂く。

（2）月会費等について（意見交換）

- ・単位会・会費調査集計表 資料参照

例.（案）

- ・建築士数2名以下 48,000円 + 3,600円（共済会+政研）
- ・建築士数3～5名 53,000円 + 3,600円（共済会+政研）
- ・建築士数6～10名 58,000円 + 3,600円（共済会+政研）
- ・建築士数11名以上 63,000円 + 3,600円（共済会+政研）

<意見>

- ・座間支部では、現状と同じなのでメリットが無い。
- ・海老名支部では、勧誘の段階で会費が高いといわれて入らない。
- ・（社）日事連の会費を下げる等の話は無いのか？ → 提案はしているが…
- ・現状の会費では厳しいのか？ → ここ数年は、厳しい状況である。

（3）支部長からの提案議題についての意見交換

- ・次年度以降のブロック支部委員会のあり方について

- ・次年度もブロックを廻って、意見の吸い上げを考えている。また、本会で行える会員増強についても考える予定である。

→ 現状のままで行くこととした。

<意見交換>

（県西支部 川村支部長）

- ・よろず塾を開催し、1名入会した。
- ・湘南建築センターに建築士向け相談会を実施し、8名の方より相談があった。
- ・新規開設事務所向け講習会の開催は良いと思う。

（愛川支部 矢後支部長）

- ・ローラー作戦を実施したが、幽霊事務所が多い。しっかりした事務所が少ない。
- ・自社で受注した確認しか取らないので、神事協に入会する気はないと断られた。
- ・入会するメリットを高めて欲しい。例えば、団体交渉等を可能にする等、アピールできる内容を多くして欲しい。

（海老名支部 水村支部長）

- ・海老名も実態のない事務所が多い。リストの1/10程度しか仕事をしていない。
- ・メリット、会費等の検討が必要。

（座間支部 谷田支部長）

- ・既存の事務所から入会させるのは難しい。新規登録者の方が、意識がある。新規事務所講習会を受けて入会した方が2名いたので講習の実施は良い。
- ・兼業の方の退会が増えている。

(伊勢原支部 小山支部長)

- ・伊勢原も実態の無い事務所が多い。支部も立上げ時より高齢化も進み、退会者が多くなり現在に至っている。
- ・少ない人数の中で、何が出来るかを考えている。
- ・中ブロック（他支部）と連携した事業を考えている。

(秦野支部 山本支部長)

- ・役員が暗くなったら、何の会か分からないし、前に進めない。
- ・秦野市からの依頼で、個人的（支部会員）に耐震相談の手伝いをしている。
- ・若い方が困っていることに手を差し伸べられるような会にしたい。
- ・楽しくなければ事務所協会でないと思って活動している。

(鎌倉支部 福田支部長)

- ・各支部が連携をとり、事業に対して協力しなくてはダメ。
- ・役員、会員が一丸になって取り組まないといけない。
- ・支部の若手を積極的に色々な事業に引っ張り出している。若い人にPRしてもらいたいので、色々な経験をさせている。
- ・行政等にもものを言える団体だから人が集まる。先にものを言える団体になることが必要。

(藤沢支部 山口支部長)

- ・講習会を実施し、会員外に必ず案内を送付している。大体参加者は同じであるが、考えも似た人が来ている。昨年は1名入会。今年は3名の内、1名が入会した。気長にやっていくしかない。
- ・仲間意識が出来れば、増えるのでは？仲間を増やすことに力を入れている。

(横須賀支部 安田支部長)

- ・支部事業に力を入れていたため、個人的には活動はしていなかった。
- ・事務所の経費を削るのに神事協が切られてしまう。
- ・現在は、登録事務所名簿をもとに地道に訪問等を行なっている。

(横浜支部 平山委員)

- ・横浜支部も減少傾向にあり、高齢化と会費滞納が多い。
- ・色々な企画をして退会防止等をしているが・・・。
- ・木造耐震の事業も減っているので、支部の予算も厳しい。
- ・支部の入会金を無くしたが、入会に繋がらない。お金の問題では無いのでは？
- ・他団体と企画が重なったりするとパワーが分散してしまうので、神事協でも「まちづくり委員会」が発足するので、一緒に活動していきたい。

(相模原支部 福永副委員長)

- ・9月から11月の入会金免除期間の新規入会者は4社があった。
- ・日事連がキャンペーン費用として単位会にばら撒くのではなく、テレビCM等でPR活動したほうが良いのでは？
- ・日事連が貯蓄しているお金を有効に活用して欲しい。
- ・魅力があれば退会しない。現在の会員が退会しないことが大事。自分たちで魅力を感じる事に力を入れたい。

- ・県との懇談会を行なっているので、市町村に県より声をかけてもらい、支部に事業を回すようなことをしていただきたい。行政にものが言える団体になって欲しい。

(大和綾瀬支部 小幡副委員長)

- ・支部に増強をお願いするのは、限界がある。多かれ少なかれ、何らかの活動はしてきている。
- ・事業としては、耐震促進協議会を設立したことにより、木造も多くなり、非木造からも声が掛かっている。
- ・県との行政懇談会は、いまのままのやり方では何の意味も無い。
- ・神事協フェアを建築関係（設計事務所を中心に、士会、JIA 等）のフェアとしたいので、支部会員の参加協力をお願いしたい。
- ・選挙にでるため、支部長代行を荒谷氏とした。

(平塚支部 斉藤委員)

- ・退会した方にも声を掛けているが、退会した方は入らない。
- ・新規事務所（右も左もわからない方、情熱のある方）へ勧誘したら入会する確立が上がるのでは？
年間 300 事務所の登録のうち 30% も入会すれば大きい。
- ・事務所協会は、転んだ方（間違いを起こした方）には厳しい会である。
- ・入院した場合等の仕事、福利等の充実を図って欲しい。

(川崎支部 白井委員長)

- ・川崎地区 900 社の内、300 社を訪問した。その内、3～5% 程度が入会の可能性がある。重点的に勧誘していきたい。

(4) その他

- ・今後の日程：10/15 スポーツ大会（秦野） 10/21 全国大会（福島）
10/29～30 神事協フェア、建築士事務所キャンペーン：実施予定は未定。

21～22年度 第1回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成22年 9月15日 (水)	会 場	浜陣3階
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川昭・○白井委員長・○平山副委員長・○小幡副委員長・○福永副委員長 (委員) ×増田・○中村・○斉藤・○小林 (支部長) ○(代)野村・○(代)寺坂・○加藤・○山口・○福田・×津田・×山本・○小山・○中原 ○谷田・×水村・○矢後・○川村 (正副会長) ○上原・○小林・○芝 (相模原)支部 西倉・永田・佐藤・麻生		
1. あいさつ 小林副会長、芝副会長より 2. 報告事項 ・省略 3. 議 題 (1) 支部長からの要望について 1) 事務所協会の方向性について 魅力作り ・魅力ある事務所協会(1会員が望んだ事を考えるため)にする手段として、小川名誉会長がブロック支部委員会をつくり、平成17年度より組織化されたものである。 ・予算も厳しいが、色々なアイデアを出して欲しい。 ・建築士事務所が、安心して、安定的な収入を得て、良い仕事ができることが大事であると考えている。 ・仕事に結びつく内容の活動をしていくことが大事であると思っている。(地域貢献等) ・支部の活動(行動を起すこと)が、会の活性に繋がる。 ・自分が入っているためになる会にして欲しい。 強制会 ・加入の義務化については、法律の壁があって厳しい状況である。 ・加入率60%は必要なので、加入率アップが必要と行政より言われている。 ・建築士事務所は、現在、土法で決められているが、業法の制定が必要であると活動を展開している。 ・(社)日事連と46単位会が一致団結して活動しなければならない。 < 意見 > ・強制で入ったとしても、活動はしないと思う。自分から入りたい会(自分にとって有益な会)にしていくことが必要。 → 未加入事務所へもPRして欲しい。 ・自分が加入した理由は、情報と人づくりであり、実現している。 ・個人では出来ないことを現実化していく。例えば、法的なこと、困っていることを団体であれば実現可能である。それは、協会の実績に繋がる。 - 底辺が動くのではなく、(社)日事連が国等へ要望していくことが本来の姿であると思う。 - また、そういった活動を世間にアピールすることが必要。(協会が動いて、法が変わった等) → (社)日事連でも議員連盟に働き掛けたり、大臣に要望したりしているが、世間に伝わっていない。 2) 公益法人改革について 一般社団なのか、公益社団なのか？ ・現在、ワーキングチームを発足して検討している。			

- ・公益社団の場合、支部の負担になる部分が多いので、支部長の皆さんの意見も聞きながら検討したい。
- ・支部活動の影響等についても考えて行きたい。

(2) 会員増強案等についての意見交換 → 上記による。

(3) その他

1) (社) 日事連理事会の報告 (上原会長より情報提供)

員外理事の必要性 (欠席が多い)

日事連賞が決定した。一般建築部門で、大手事務所以外が受賞した。

小規模建築物については、今年度より非会員でも参加が出来る事となっていた。ただし、審査通過時には、会員になることが条件。何事務所か、入会したようだ。

事務所法の制定、確認の効率化について、国交省へ要望書を提出した。

基準法改正案について (適判、確認検査機関、厳罰化)

10月頃にパブコメが出る予定ですので、意見があれば出して欲しい。

公益法人について

- ・内閣府とやり取りをしている。留保金 (準備金、財政積立金等) の問題があるようだ。留保金については、各单位会でも同じである。

適合証明業務について、千葉県で違反者の処分があった。

会員増強ワーキングについて、本日提出の資料を見て欲しい。

2) その他

- ・確認済証の副本にも建築士免許証コピーを付けているが、それが悪用される心配はないのか？
- ・会員証の有効期限が今年度で切れるが、どう考えているのか？また、重要事項説明もあるので、顔写真も必要では？
 - 広報情報委員会にて作成を検討しているので、案が出来た時点でご意見を伺うよう提示致します。写真については、資料が集まるかどうか…。

21～22年度 第2回 (社)神奈川県建築士事務所協会 3役・支部長合同ブロック支部委員会 議事録				
開催日時	平成23年 2月16日 (水)	会 場	小田原箱根商工会議所	
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川昭・○白井委員長・○平山副委員長・○小幡副委員長・○福永副委員長 (委 員) ○増田・○中村・○斉藤・○小林 (支部長) ×野村・○安田・×加藤・○山口・○福田・×津田・○山本・○小山・×中原 ○谷田・○水村・○矢後・○川村 (正副会長) ○上原・○小林・○芝 (県西) 支部 ○長谷川・○渡部 () 支部 () 支部			
1. あいさつ 上原会長、小林副会長、芝副会長より 2. 報告事項 ・各種報告 → 省略 3. 議 題 (1) 正副会長との意見交換 会員増強等について ・新規事務所の50～60%を加入させたい。 ・加入率を上げること＝分母が下がれば上がる。 ・(社)日事連が行ったアンケートについて、特に会費が高い事について日事連はもっと考えて欲しい。 ・会費が高いとの声が多いので、下げる検討も必要では？ → 神奈川会が下げても日事連が下げなければ意味がない。 ・事務所協会から参議院へ議員をださなければいけない。 そこから検討すべきである。圧力団体になれる。政治力を付けることが大事。 < 意見等 > (県西支部 長谷川副支部長) ・ローラー作戦を実施し、実態のない会社が多かった。 ・キャンペーン等がないと会員増強の意識がない。年間に何回かは、イベントを実施して意識付けをして欲しい。 ・新規開設事務所講習会を受ける方は若い人が多いため、入会金の3万円は高いので、講習を受講した方は半額になる等の割引を検討して欲しい。 ・パンフレットの作成(キャンペーン用)を作成してはどうか？ (県西支部 渡部副支部長) ・継続して勧誘活動は行なって欲しい。 ・3割増強は難しい。 ・役所や国に対しても意見の言える人が欲しい。 ・会費が高いため、支払えない方も多くなっている。会費を下げる努力も必要。出来ることからやらないとダメ。(土会と事務所協会の違いを理解させ、団体の先頭に立つことが大事。) (小林委員) ・業界のあり方、専門性の高いのが建築士。人々の暮らしの中に入り込んでいるという理解を一般の人に知らせることが大事。また、皆が一緒になって活動していることを市民へPRしていくことが大事。 (2) その他 ・法人化移行のスケジュールが修正された。				